

令和8年度

東京歯科大学歯科矯正学講座 入局者募集要項

当講座の特徴

当講座は、1914年に初代教授・榎本美彦先生により日本初の歯科矯正学講座として設立されて以来、100年以上にわたる歴史と伝統があります。その伝統を礎としつつ、常に時代の最先端を見据えた教育・研究・診療の実践を行ってきました。

研究面においては、豊富な臨床症例に基づく統計解析に加え、AIやデジタルデンティストリーを活用した臨床研究・基礎研究を推進しています。成長発育や歯の移動機構の解明から、社会実装を視野に入れた研究まで、最先端の手法を用いて幅広く展開しています。

教育面においては、認定医・専門医の取得に必要な専門教育として、1975年に設立された本研修課程において、3年間の全日制プログラムを提供しています。体系的かつ充実した講義に加え、研修生1名あたり約150症例の臨床経験を積むことができ、国内外から高い評価を受けています。さらに、著名な同窓矯正歯科医による教育参加により、多様な治療哲学およびテクニックを学べる点も大きな特徴です。修了時には4症例の症例報告および1編の研修修了論文の提出が求められ、これにより認定医・専門医に求められる到達目標が確実に担保されています。なお、大学院進学については、研修課程1年目終了後に適性を評価し、入局2年目に大学院入学試験の受験資格を付与しています。

臨床面においては、千葉歯科医療センターの特性を活かし、早期治療から本格矯正治療、成人矯正、外科的矯正治療、さらには先天性疾患に対する治療まで、幅広い症例を経験することができます。初学者が段階的に臨床能力を習得するうえで、非常に恵まれた環境が整っています。

入局に関する説明会

日時：令和8年5月20日（水） 18：00～

形式：オンライン（Google Meet）

受験希望者は説明会への参加希望をメールにて連絡を下さい。

（医局長：飯島まで iijimayuki@tdc.ac.jp）

記載事項：①氏名 ②連絡先（メールアドレス） ③勤務場所 ④出身大学

入局試験

日時：令和8年7月12日（日）9時～（開始時刻は変更になる可能性あり）

試験会場：水道橋病院本館

用意するもの：筆記用具、油性ペン、

バードビークプライヤー、ニッパーあるいはエンドカッター

昼食（近隣にコンビニ有）

1. 応募資格

歯科医師臨床研修修了者または修了予定者

* 入局試験の応募条件として、説明会への参加は必須ではないが、
参加が望ましい

2. 入局試験内容

記述試験：英語

小論文

歯科矯正学

実技試験：ワイヤーベンディング

面接：個人面接

合否結果は後日（1週間程度）郵送あるいはメールにて通知する

応募要領

- ・履歴書（下記様式参照）
 - ・国家試験成績の写し
 - ・大学成績証明書（原本）←説明会参加前に手配しておくことを勧める
 - ・卒業証書の写し
 - ・歯科医師免許の写し
- の5点を添えて医局長宛に申し込むこと。

なお、TOEIC、TOEFL等の外国語検定試験の受験歴のある者は、その結果を添えることが望ましい。

応募締切 6月30日（火）必着

履歴書様式

1. 一般的な履歴
2. 志望動機
3. 自己アピール
4. 学生時代の活動、特技、趣味、スポーツ等
5. 大学院進学希望の有無（有の場合は、関心のある研究領域について記載）
6. 認定医資格取得後の進路（開業、実家、大学院後に教員などの将来の展望）について記述すること。

オンライン形式となった場合は Google アカウントが必要になるため
Gメールアドレスを記載すること
説明会参加時と異なるアドレスの場合は、その旨を記載すること

宛先、問い合わせ先：

〒261-8502

千葉県千葉市美浜区真砂 1-2-2

東京歯科大学千葉歯科医療センター 矯正歯科

担当：医局長 飯島 由貴

E-mail: ijjmayuki@tdc.ac.jp